



The Japanese Union of Associations for Psychomedical Therapy

ニュースレター

発行者 吉内 一浩

日本心理医療諸学会連合 事務局 担当：大谷

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院心療内科医局

E-mail upm_office@yahoo.co.jp

日本心理医療諸学会連合理事長 挨拶
東京大学医学部附属病院心療内科 吉内 一浩 (日本行動医学会)

今年は、COVID-19の影響で、様々な学術集会や研究が延期、あるいは中止となっております。まずは、亡くなられた方やご家族に心よりお悔やみを申し上げたいと存じます。また、本学会の会員の先生方におかれましても、最前線に立たれて活躍された先生も大勢いらっしゃるかと存じます。本当にありがとうございます。さて、昨秋には、清

水理事(日本認知・行動療法学会)が素晴らしいプログラムで第32回大会を開催してくださいました。今年度は、このような状況の中、小田切理事(日本ストレス学会)が第33回大会のご準備をされています。今年度も、会員の先生方にお力添えをお願いできれば幸いです。よろしく願い申し上げます。

日本心理医療諸学会連合第32回大会開催のご報告
テーマ「公認心理師時代のこれからの心理と医療の連携」

第32回大会 大会長 清水 栄司

2019年11月10日(日)に千葉大学幕張キャンパスにおいて、日本認知・行動療法学会(嶋田洋徳理事長)主催で、「公認心理師時代のこれからの心理と医療の連携」をテーマにUPM第32回大会を開催させていただきました。大会長の清水栄司と事務局長の沼田法子(千葉大学)から、紙面を借りて一言、御礼の言葉を述べていただきます。細谷紀江前理事長、吉内一浩現理事長と新旧の事務局の先生方、そして、全ての日本心理医療諸学会連合(UPM)加盟学会の先生方におかれましては、私どものほうで多々至らぬところがあつたにも関わらず、準備段階から詳細にご指導をいただきました上、当日は千葉市まで遠路はるばるご足労いただき、大会を盛り上げていただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。第1部では、大島郁葉先生、飯倉康郎先生(日本認知・行動療法学会)、杉本是明先生、和氣裕之先生、玉置勝司先生(日本歯科心身医学会)、小澤真先生(日本交流分析学会)、本田真大先生(日本カウンセリング学会)、梅澤章男先生、辻下守弘先生(日本バイオフィードバック学会)に、各専門分野から職域を超えた演題で講習会をご担当いただき、大変ありがとうございます。また、第2部では、吉内一浩先生(日本行動医学会)、

嶋田洋徳先生(日本認知・行動療法学会)に司会をご担当いただき、石川俊男先生(日本心療内科学会)、田村泰徳先生(日本心身医学会)、中川彰子先生(日本認知・行動療法学会)にコメントをいただきながら、事例提供者の原広一郎先生(日本認知・行動療法学会)に「身体合併症を繰り返す長期経過の神経性無食欲症の一例」をご発表いただきました。深く事例を読みとって検討していくプロセスを3時間の濃密な事例検討会を通して多くの参加者の先生方と共有できましたこと、誠に深謝申し上げます。おかげさまで、当日は全国から137名の方にご参加いただき、本大会を盛会のうちに終えることができました。現在(2020年4月)は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言の下、日本心理医療諸学会連合の各先生方におかれましては、医療面、心理面での日々のご対応が大変困難な時期を過ごされていることと存じますが、團結してウイルスとの戦いに勝利し、次回2020年11月8日(日)に日本ストレス学会の小田切優子先生(東京医科大学)が開催される第33回大会でお会いできればと思っております。その時まで、「上を向いて歩こう」で行きましょう。

2020年度加盟学会学術大会一覧(2020/6/1時点)

学会名(五十音順)	日程	開催場所
日本カウンセリング学会	来年に延期	-
日本健康心理学学会	11月	オンライン開催 *期日はHPで発表予定
日本行動医学会	12/11~12	東京(オンライン開催の可能性あり)
日本交流分析学会	延期	東邦大学 大森キャンパス
日本歯科心身医学会	6/20~21	誌上開催
日本実存療法学会	11/14	日本教育会館 *6/20より延期
日本女性心身医学会	来年に延期	昭和大学 上森記念館 予定
日本自律訓練学会	10/2~4	和洋女子大学
日本心身医学会	開催中止	開催中止
日本心療内科学会	10/31~11/1	仙台国際センター
日本ストレス学会	10/24~25	北里大学
日本内観学会	延期	-
日本認知・行動療法学会	9/11~30(予定)	オンライン開催
日本バイオフィードバック学会	来年に延期	-
日本ヨーガ療法学会	9月(1ヶ月程度)	オンライン開催

日本心理医療諸学会連合第33回大会開催のご案内

テーマ「ポストコロナを見据えた心理職と医療職の協働」

第33回大会 大会長挨拶 小田切 優子

このたび、日本心理医療諸学会連合(UPM)第33回大会を主催させていただくことになりました、日本ストレス学会の小田切優子です。100年に一度の禍とも称される新型コロナウイルス感染症は、私達に未曾有のインパクトと試練を与え、人々の生活、働き方、社会の在り方を根底から変えてしまいました。突然始まったテレワーク、連日のオンライン会議に、自分のITリテラシーの低さを反省しつつ何とかこの生活に自分をはめ込もうと努力しています。専門家会議の提言を踏まえると、我々皆に「新しい生活様式」を実践していくことが必要とのこと。物理的距離をとりながらどのように人と人とのつながりを強めていくか、色々な工夫が求められてくることと思います。UPMが心理学系学会と医療系学会の連合体である特徴をこの機会に活かすことができればという思いで、「ポストコロナ

を見据えた心理職と医療職の協働」をテーマとさせていただきます。詳細は開催概要をご覧くださいと思いますが、日本認知・行動療法学会様からは大規模災害後というまさに時宜を得た設定、日本交流分析学会様からはco-creative、日本バイオフィードバック学会様からはチーム医療、過去と未来という視点での研修会をご提案いただいております。新しい協働について学ぶ絶好の機会になることと思っております。午後の事例検討会では、2つの事例をご提供いただき、治療と就労の両方の側面からフロアも交えて議論したいと考えております。まだまだ先が見通せない状況ではございますが、皆様に元気にお目にかかれまことを祈り、鋭意準備を進めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 主催 日本心理医療諸学会連合(UPM)
- 大会長 小田切優子(日本ストレス学会・UPM副理事長)
- 運営委員 吉内 一浩(日本行動医学会・UPM理事長) 細谷 紀江(日本心療内科学会)
- 嶋田 洋徳(日本認知・行動療法学会) 島津 明人(日本ストレス学会)
- 松野 俊夫(日本交流分析学会) 岩満 優美(日本ストレス学会)
- 中尾 睦宏(日本バイオフィードバック学会)
- 日 時 2020年11月8日(日) 9:45~17:00
- 参加費 UPM加盟学会会員:4,000円、非会員:5,000円、学生:2,000円
- 会場 東京医科大学新宿キャンパス第一看護学科棟 (https://www.tokyo-med.ac.jp/access/) 〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1

JR・小田急・京王線:「新宿駅」東口・中央東口から徒歩約20分 / 西武新宿線:「西武新宿駅」から徒歩約20分 / 都営バス:新宿西口から練馬車庫前行「新宿一丁目北(元厚生年金会館前)」から徒歩約3分 / 東京メトロ丸ノ内線:「新宿御苑前駅」出口2から徒歩約7分 / 都営新宿線:「新宿三丁目駅」出口C7から徒歩約10分 / 東京メトロ副都心線:「新宿三丁目駅」から徒歩約15分(西新宿の東京医科大学病院とは異なりますのでご注意ください)

東京医科大学 案内図



新宿キャンパスマップ



- 大会プログラム(9:15 受付開始)
- 9:45 開会挨拶 日本心理医療諸学会連合 理事長 吉内 一浩
- 大会長挨拶 同 第33回大会 大会長 小田切優子
- 10:00~12:45 第1部:講習会I(10:00~11:15)、講習会II(11:30~12:45)

講習会 I (10:00~11:15)		講習会 II (11:30~12:45)	
[A: 日本認知・行動療法学会]			
I-A (定員 80名)		II-A (定員 80名)	
●大規模災害以降に顕在化する心理社会的困難への集団認知行動療法 講師: 小関 俊祐 (桜林大学心理・教育学系)			
[B: 日本交流分析学会]			
I-B (定員 80名)		II-B (定員 80名)	
●私たちのTA①~ co-creative という発想 (関係性は一緒に創るもの) ~ 講師: 島田 涼子 (人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科)		●私たちのTA②~ co-creative というスタンスは様々な領域で役立つ 講師: 島田 涼子 (人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科)	
[C: 日本ストレス学会]			
I-C (定員 60名)		II-C (定員 60名)	
●その健康記事、正確ですか?~疫学研究デザインを考える~I 講師: 菊池 宏幸 (東京医科大学公衆衛生学分野)		●その健康記事、正確ですか?~疫学研究デザインを考える~II 講師: 菊池 宏幸 (東京医科大学公衆衛生学分野)	
[D: 日本バイオフィードバック学会]			
I-D (定員 60名)		II-D (定員 60名)	
●バイオフィードバックとチーム医療 講師: 小山 明子、終 未聖 (東邦大学医療センター大森病院心療内科)		●バイオフィードバックの生理・生化学・心理学的指標: 過去と未来の四半世紀を展望 講師: 中尾 睦宏 (国際医療福祉大学)	

- 12:45~14:00 昼食(学内の食堂は開いておりません。各自ご持参いただくか、近隣にてお問い合わせください。会場でのお食事が可能です)
UPM理事会 開催
- 14:00~16:50 第2部: 事例検討会 (途中休憩あり)
○事例提供者 石澤 哲郎 (産業医事務所セントラルメディカルサポート/ワーカーズクリニック銀座
/東京大学医学部附属病院心療内科、日本心療内科学会)
「事例1: 外出恐怖と職場不適応で出社できなくなったパニック障害の一例」
「事例2: 双極性障害およびパーソナリティの問題で対応に苦慮した一例」
○司会・コメンテーター 吉内 一浩 (東京大学、日本行動医学会、UPM理事長)
小田切優子 (東京医科大学、日本ストレス学会、UPM副理事長)
柴山 修 (横浜労災病院心療内科、日本心身医学会)
江口 尚 (北里大学医学部公衆衛生学単位、日本ストレス学会)
小林 由佳 (株式会社読売新聞東京本社総務局、日本認知・行動療法学会)
- 16:50~17:00 閉会挨拶 大会長 小田切優子

■事前申し込み (受付期間: 2020年8月1日~11月3日)
下記の必要事項を記入し、第33回大会事務局宛にメールまたはFAXにてお申し込みください。定員を超えた場合はお断りする場合がございますのでご了承ください。UPMホームページの大会案内もご覧ください。

- 日本心理医療学会連合第33回大会 申し込み要項
 - 参加者ご氏名(ふりがな)
 - 職種
 - 希望する講習会名
※講習会 I (A・B・C・D)、講習会 II (A・B・C・D) より各1つを選択してください。
※同じ時間帯に1つしか受講できません。定員制ですので先着順とさせていただきます。
※A: 日本認知・行動療法学会については講習会 I と II は同内容です。
※B: 日本交流分析学会については講習会 I と II の通しでもどちらか一方でも可能です。
※C: 日本ストレス学会については講習会 I と II の通しでの参加をおすすめします。
※D: 日本バイオフィードバック学会は、バイオフィードバック技能師資格認定講習会を兼ねています。
 - 所属するUPM加盟学会名(主たる学会名)、または一般参加・学生等の区分をお書きください。学生の場合、当日、学生証をご提示ください。
 - 連絡先 メールアドレスを必ずお書きください。受付確認後、メールにてご連絡を差し上げます。
- 申し込み・問い合わせ先
日本心理医療学会連合第33回大会事務局 (東京医科大学公衆衛生学分野)
E-mail: UPM33stress@gmail.com TEL: 03-3351-6141 (237) / FAX: 03-3353-0162

＜ 2020年度 第1回ニューズレター 事務局便り＞

UPMは、その理念にご賛同いただいた多くの人や組織のご支援、ご尽力によって成り立っております。各加盟学会および理事や会員の先生方をはじめ、UPMニューズレター作成にご協力いただいております実務教育出版様、ホームページ (<http://www.jupm.jp>) を管理していただいております

ハッピージャパン様など、関係者の皆様にご感謝しつつ、事務局としての役割を果たしてまいります。お問い合わせなどがございましたら、メールにてご連絡をいただければ幸いです。今後ともよろしくご依頼申し上げます。

事務局 大谷 真

新版 STAI 状態-特性不安検査

State-Trait Anxiety Inventory-Form JYZ
著者/ 肥田野直、福原真知子、岩脇三良、曾我祥子
Charles D. Spielberger
B5判/複写式・自己採点方式 1セット50部/定価 8,750円 (税込)
スピルバーガー教授と共同研究で「STAI-Y」を日本語版に改良した不安測定質問紙の最新版。臨床・研究に。

NSI 看護職ストレスインベントリー

Nursing Stressor Inventory
著者/中村有、黒岩誠 B5判/複写式・自己採点方式
1セット30部/定価 10,200円 (税込)
病院内の看護場面で発生する代表的なストレス20項目について測定し、看護職特有の5つの特性を尺度化。職場満足度・快適度の実態調査や看護職員のメンタルヘルスに。

PSI 小学生用・中学生用・高校生用

パブリックヘルスリサーチセンター版ストレスインベントリー
Public Health Research Foundation Type Stress Inventory
著者/坂野雄二、岡安孝弘、嶋田洋徳
A4判/複写式・自己採点方式
1セット30部/定価 各8,550円 (税込)

子どもの心身の不調、ストレスの原因、周りからの援助のようすを測定し、心の健康状態を客観的にとらえる。

EQS エクス-EQ(情動知能)スケール

Emotional Intelligence Scale
著者/内山喜久雄、島井哲志、宇津木成介、大竹恵子
B5判/複写式・自己採点方式
1セット30部/定価 9,450円 (税込)

EQ理論に基づき、自己対応、対人対応、状況対応の3領域を測定する人格検査。臨床・メンタルヘルスの資料に。

SCI ラザルス式ストレスコーピングインベントリー

Lazarus Type Stress Coping Inventory
著者/日本健康心理学研究所
A4判/複写式・自己採点方式
1セット30部/定価 8,550円 (税込)

ラザルスのストレス対処理論を日本語版に標準化した最新のストレス検査。メンタルヘルス、カウンセリングの資料に。

EAS 自我態度スケール

Ego Aptitude Scale
著者/日本健康心理学研究所
A4判/複写式・自己採点方式
1セット30部/定価 8,550円 (税込)

自己実現のための心的エネルギーを測定。「SCI」とのバッテリーで、対処行動の背景となる人格特性がより明確になる。

〒163-8671 東京都新宿区新宿1-1-12 実務教育出版

TEL 03-3355-1801 (教育教材事業部)
<https://www.jitsumu-kyouzai.com/wellness/>

本邦初、本格的な交流分析(TA)の事典

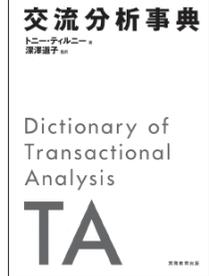
交流分析事典

Dictionary of Transactional Analysis

交流分析(TA)の学びに必要な約700項目を収録!

イギリスの交流分析(TA)の研究者トニー・ティルニー (Tony Tilney) の著書 "Dictionary of Transactional Analysis" を、日本の交流分析のカリスマ深澤道子を中心とした研究グループが初めて日本語に訳した事典です。
専門用語の多い交流分析を学び、実践に活かすにあたって必須となる約700項目を収録しました。交流分析を学ぶすべての人に必携の一冊です!

トニー・ティルニー 著/深澤道子 監訳
A5判/328頁/ISBN978-4-7889-6085-5/定価: 本体3,800円+税



実務教育出版

〒163-8671 東京都新宿区新宿1-1-12
TEL.03-3355-1951 (販売) www.jitsumu.co.jp